



2021年9月7日

各 位

長野県北安曇郡白馬村大字北城 6329 番地 1
会社名 日本スキー場開発株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 鈴木 周平
(コード番号：6040 東証マザーズ)
問合せ先 財務経理本部長 佐藤 祥太郎
(TEL 0261-72-6040)

〈マザーズ〉投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

| | |
|--------|--|
| 開催日時 | 2021年9月6日 15:30～16:30 |
| 開催方法 | 対面による実開催 |
| 開催場所 | 千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビルディング 9階 新丸ビルコンファレンススクエア Room902 |
| 説明会資料名 | 2021年7月期 通期決算説明資料 |

【添付資料】

決算説明会において使用した資料

2021年7月期 決算説明資料

2021年9月6日(月)

長野県北安曇郡白馬村大字北城6329番地 1
日本スキー場開発株式会社
(証券コード：6040)



| | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 決算概要 | P. 3 |
| 2. 施設別状況 | P. 8 |
| 3. Withコロナにおける取組 | P. 15 |
| 4. 2022年7月期計画 | P. 20 |
| 5. Appendix | P. 29 |

1. 決算概要

P. 3

2. 施設別状況

P. 8

3. Withコロナにおける取組

P. 15

4. 2022年7月期計画

P. 20

5. Appendix

P. 29

2021年7月期 通期ハイライト



【ウィンターシーズン】

- ✓ 150万人前後あった来場者数がコロナの影響により100万人を下回る
 - ・ インバウンドゼロ。団体やバス、また、ファミリー層中心に日本人の宿泊も減少
 - ・ 19-20シーズンは小雪の影響を受けた岩岳やめいほうが前年比堅調

【グリーンシーズン】

- ✓ コロナ禍で高まるアウトドア需要を獲得し来場者数は前年から増加
 - ・ グリーンシーズンは投資を継続しコロナ禍でも来場者数増加
 - ・ 岩岳は山頂テラスだけでなく絶景ブランコや音楽フェスなど新規取組実施。めいほうもキャンプサイトの拡張やアクティビティ施設を追加し、ともに過去最高の来場者数を達成

【財務・投資活動】

- ✓ 財務状況
 - ・ 前期に最悪の事態に備え用意した短期借入金1,000百万円を返済し、全て実質無利子の長期借入に借換
 - ・ 384百万円の自己株式取得を実施
- ✓ 投資活動
 - ・ 小雪対策投資：277百万円（小雪対策投資は概ね一巡。冬期の気候変動リスクに対応）
 - ・ 開発用地取得：108百万円（白馬エリアでの用地取得）

- 降雪状況 : 12月中旬以降のまとまった自然降雪により順調にコース拡大。シーズン終了日も例年並
- コロナの影響 : 修学旅行等の団体やバスツアーが大幅減。来場者数減に合わせてコスト管理を徹底
- 営業外損益 : コロナ関連補助金及び観光振興事業補助金を取得。設備投資分は圧縮記帳を実施

損益計算書等の状況

(単位：百万円)

| | 20/7期 | 21/7期 | 増減 | 前期比 |
|---------|-------|-------|---------|-----|
| 売上高 | 6,063 | 4,546 | △ 1,516 | 75% |
| 営業利益 | 317 | △ 428 | △ 745 | — |
| 経常利益 | 388 | △ 267 | △ 655 | — |
| 当期純利益 | 139 | △ 480 | △ 619 | — |
| EBITDA | 876 | 152 | △ 723 | 17% |
| 運営スキー場数 | 8カ所 | | - | |

【来場者数】

(単位：千人)

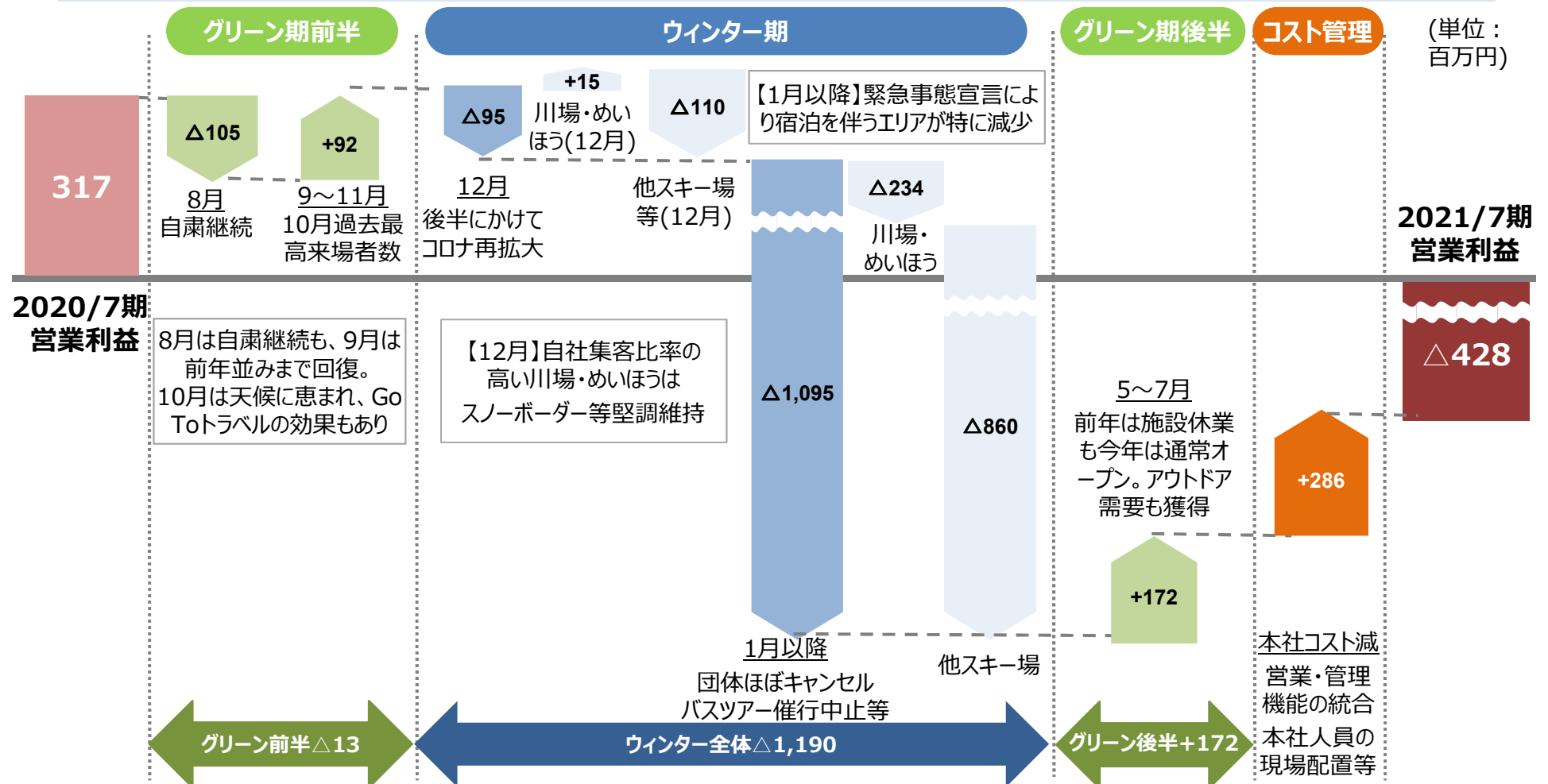
| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| ウィンター | 1,463 | 955 | △ 508 | 65.3% |
| グリーン | 308 | 328 | 19 | 106.2% |
| 来場者合計 | 1,772 | 1,283 | △ 488 | 72.4% |

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

- 当期の補助金取得額は312百万円
- うち、151百万円は投資に関する補助金であり圧縮処理を実施
⇒降雪機投資に充当

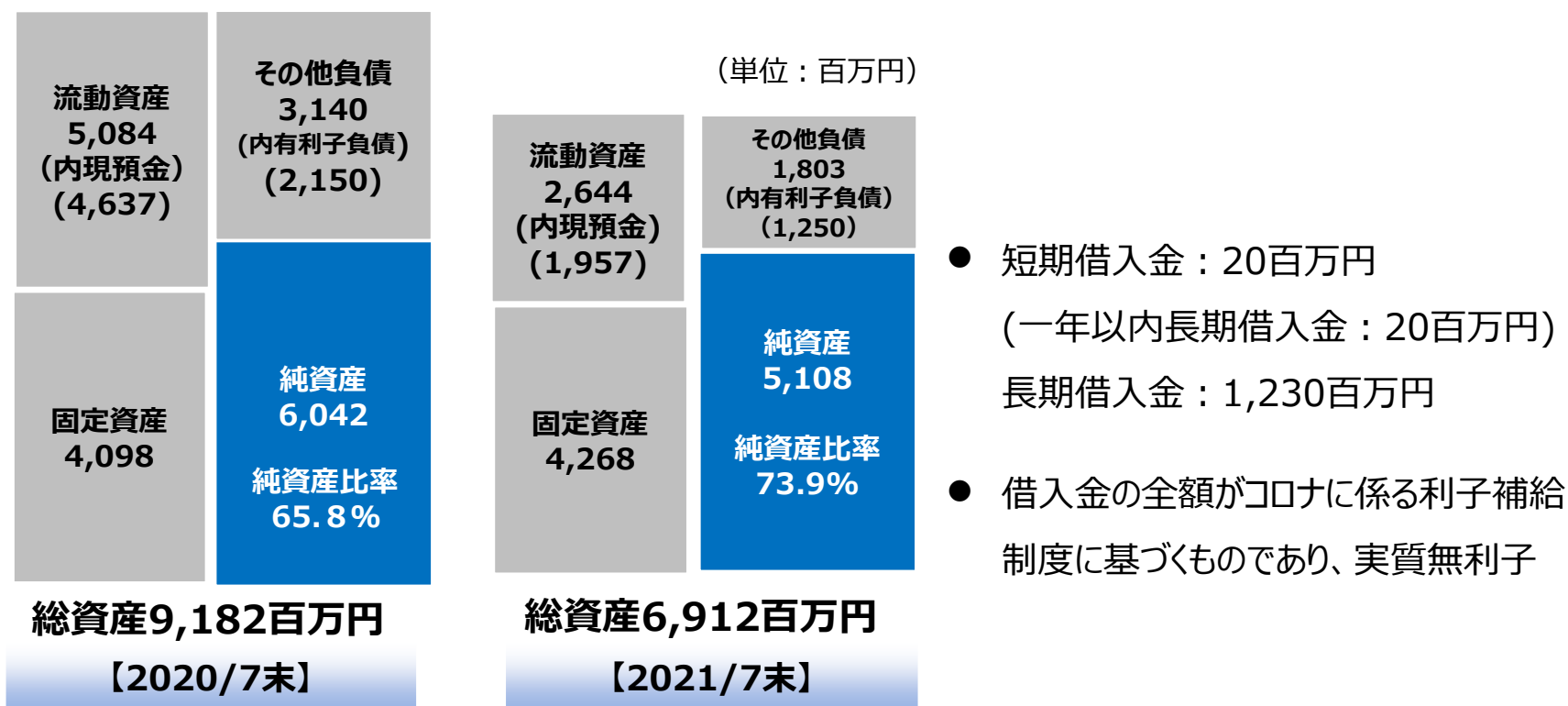
2021年7月期 営業利益増減明細

- グリーンシーズンはコロナ禍においてもシーズンを通し来場者数増加。一方、ウィンターシーズンは最繁忙期の1月初旬から3月下旬まで緊急事態宣言が発出され影響を受ける
- 当初計画した本社の営業・管理機能の統合や人員の現場配置は計画通り進展



- 前期に、最悪の場合に備え実行した短期借入1,000百万円を返済
⇒全額実質無利子の長期借入に借換
- 2020年12月に自己株式384百万円を市場取得。また、2021年7月期より初配7円を実行

バランスシートの状況



1. 決算概要

P. 3

2. 施設別状況

P. 8

3. Withコロナにおける取組

P. 15

4. 2022年7月期計画

P. 20

5. Appendix

P. 29

20-21シーズンのオープン状況



- 12月上旬は気温上昇が続き人工降雪機の稼働は限定され、オープン日は全体的に遅れた
- 12月中旬からまとまった自然降雪があり、その後順調にコースは全面滑走可能となった

| 運営スキー場名 | 2019/7期 | 2020/7期 | 2021/7期 | 前期対比 |
|------------------|---------|---------|---------|-------|
| 白馬八方尾根スキー場(HV*) | 12月15日 | 12月6日 | 12月15日 | 9日遅い |
| 白馬岩岳スノーフィールド(HV) | 12月21日 | 12月31日 | 12月18日 | 13日早い |
| 拇池高原スキー場(HV) | 12月15日 | 12月16日 | 12月11日 | 5日早い |
| 鹿島槍スキー場(HV) | 12月15日 | 12月14日 | 12月18日 | 4日遅い |
| 竜王スキーパーク | 12月2日 | 12月1日 | 12月3日 | 2日遅い |
| 川場スキー場 | 12月3日 | 12月6日 | 12月11日 | 5日遅い |
| めいほうスキー場 | 12月15日 | 12月9日 | 12月18日 | 9日遅い |
| 菅平高原スノーリゾート | 12月10日 | 12月7日 | 12月11日 | 4日遅い |

ウィンターシーズン 全体来場者数



- スキー場全体の来場者数は前年比65.3%
- 日帰り圏で自社集客の比率が高いめいほう、川場は来場者数維持(※川場は一昨年比では98%)
- 特に宿泊を伴うエリアは、緊急事態宣言が1月上旬～3月下旬にかけて発出され、ファミリーなど一般宿泊、団体、バスツアーの大半がキャンセルとなった

ウィンターシーズン来場者数

(単位：千人)

| 運営スキー場名 | 2020/7期 | 2021/7期 | 前期比 |
|------------------|--------------|------------|--------------|
| 白馬八方尾根スキー場(HV*) | 299 | 184 | 61.6% |
| 白馬岩岳スノーフィールド(HV) | 52 | 66 | 125.6% |
| 樽池高原スキー場(HV) | 242 | 141 | 58.4% |
| 鹿島槍スキー場(HV) | 81 | 52 | 64.8% |
| 竜王スキーパーク | 203 | 104 | 51.5% |
| 川場スキー場 | 183 | 143 | 78.4% |
| めいほうスキー場 | 169 | 162 | 96.0% |
| 菅平高原スノーリゾート | 231 | 99 | 42.9% |
| スキー場計 | 1,463 | 955 | 65.3% |
| その他 (かわばんち、おに助他) | 13 | 24 | 176.9% |
| 合計 | 1,477 | 980 | 66.3% |

(*)HV : HAKUBA VALLEY

ウィンターシーズン 各スキー場のインバウンド来場者数



- 今シーズンのインバウンド来場は新型コロナウイルスの影響により当初から見込んでいなかったが、国内在住の外国人を中心に利用があった
- 来シーズン以降のインバウンド復活に向けて、海外旅行代理店や海外スキークラブ等とのコンタクトを継続。冬季北京五輪によるアジア圏のスキー人口増加もねらう

スキー場別 インバウンド来場者数

(単位：千人)

| スキー場 | 18-19シーズン | 19-20シーズン | 20-21シーズン | インバウンド比率 | 前年比 |
|------------------|------------|------------|-----------|-------------|-------------|
| 白馬八方尾根スキー場(HV*) | 158 | 130 | 10 | 5.5% | 7.8% |
| 白馬岩岳スノーフィールド(HV) | 24 | 9 | 2 | 4.5% | 31.5% |
| 柵池高原スキー場(HV) | 43 | 53 | 5 | 3.6% | 9.4% |
| 鹿島槍スキー場(HV) | 1 | 2 | 0 | 1.1% | 26.7% |
| 白馬エリア合計 | 228 | 196 | 18 | 4.2% | 9.6% |
| 竜王スキーパーク他3スキー場 | 4 | 8 | 1 | 0.3% | 18.1% |
| 合計 | 232 | 204 | 20 | 2.1% | 9.9% |

(*)HV：HAKUBA VALLEY

HAKUBA VALLEY10スキー場全体のインバウンド来場者数は367千人(18-19シーズン)、375千人(19-20シーズン)、38千人(20-21シーズン)

ウィンターシーズン チャンネル別来場者数



- シーズン券利用者数はほぼ前年並となり根強いファンを確保。また、オンラインチケットの購入が増加し、窓口チケット販売から前売券チャンネルに流れる
- キッズパーク充実のめいほうは、前年に比べ十分な降雪があり、同チャンネルは増加
- 団体・修学旅行はほとんどがキャンセル。ツアー会社利用チャンネルも緊急事態宣言後は催行急減

ウィンターシーズン チャンネル別来場者数

(単位：千人)

| チャンネル | 2020/7期 | 2021/7期 | 前期比 |
|--------------|---------|---------|--------|
| 窓口チケット販売(※) | 603 | 412 | 68.3% |
| ツアー会社利用 | 261 | 130 | 50.0% |
| 地元旅館宿泊 | 126 | 89 | 70.3% |
| シーズン券 | 142 | 143 | 100.6% |
| 前売券・コンビニ券(※) | 115 | 93 | 80.8% |
| 団体・修学旅行 | 128 | 11 | 8.5% |
| キッズパーク・未就学児 | 19 | 20 | 102.0% |
| その他 | 68 | 58 | 84.7% |
| 合計 | 1,463 | 955 | 65.3% |

(※)オンラインチケットは「前売券・コンビニ券」に含む

ウィンターシーズン 売上単価の推移

- 20-21シーズンは、売上単価が低い傾向にある団体・修学旅行及びツアー会社利用チャネルの割合が減少したことにより、リフト券単価が上昇
- また、グループ内でも売上単価の高い、川場及びめいほうの来場者数の割合が増加したため、全体の単価も上昇
- レンタル利用の減少等、新型コロナウイルスの回避行動により付帯売上の総額は減少したが、テイクアウトメニューの販売や絶景ブランコの展開等ノンスキーヤー向けの取組により付帯売上単価は上昇



※それぞれ8スキー場合計の単価

グリーンシーズン 全体来場者数



- グリーンシーズンは投資を継続しコロナ禍でも来場者数増加
- 2020年10月の索道を稼働した施設の来場者数はGo Toトラベルの効果もあり過去最高。2021年7月も緊急事態宣言下であったが、梅雨明けも例年並みとなり、来場者数は58千人(2019年7月比89.8%)
- めいほう高原では今シーズンもキャンプエリアを拡張するとともに、昨年新設したジップラインやバギーパークなどのアクティビティも複合的に展開。竜王も新たに「ソラグランピング」を開始し利用者数は好調に推移

グリーンシーズン 施設別来場者数

(単位：千人)

| 施設名 | 2020/7期 | 2021/7期 | 前期比 |
|---------------------|------------|------------|---------------|
| 国際山岳リゾート白馬八方尾根(HV*) | 73 | 71 | 97.9% |
| 白馬岩岳マウンテンリゾート(HV) | 96 | 134 | 139.6% |
| 梅池高原(HV) | 64 | 58 | 90.4% |
| 竜王マウンテンパーク | 74 | 63 | 84.9% |
| 小計 | 308 | 328 | 106.2% |
| 鹿島槍スポーツヴィレッジ | 7 | 5 | 70.7% |
| 川場リゾート | 36 | 46 | 127.3% |
| めいほう高原 | 21 | 32 | 151.2% |
| 合計 | 374 | 412 | 110.1% |

(*)HV : HAKUBA VALLEY

1. 決算概要

P. 3

2. 施設別状況

P. 8

3. Withコロナにおける取組

P. 15

4. 2022年7月期計画

P. 20

5. Appendix

P. 29

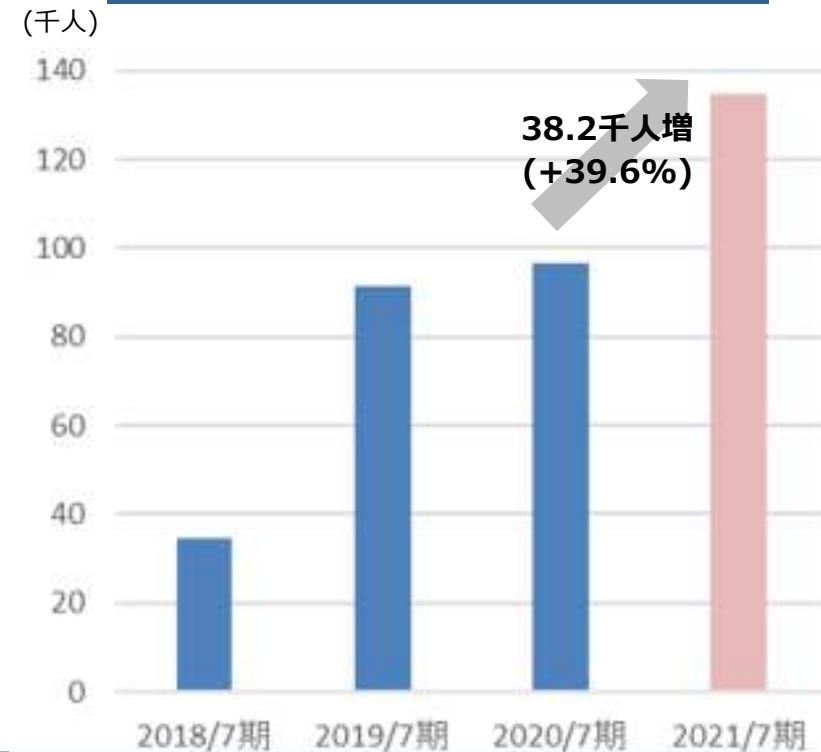
With コロナ 岩岳のリゾートテレワークとコンテンツの多様化

- 白馬岩岳は2018年10月の“Hakuba Mountain Harbor”のオープン以来、来場者数は増加傾向にあるが、新たに絶景大型ブランコ“ヤッホー！スウィング”の設置や元キマグレンのISEKI氏プロデュースのフェスの開催など、コンテンツを多様化し集客を強化
- リゾートテレワークの施設として山頂に「森のオフィス」を展開。アウトドアチェア、テーブルと電源、WiFiを完備し、絶景の中で心身ともにリラックスしながら快適に働ける環境をご提供

白馬岩岳のリゾートテレワークと新規コンテンツ



白馬岩岳グリーン期 来場者数推移



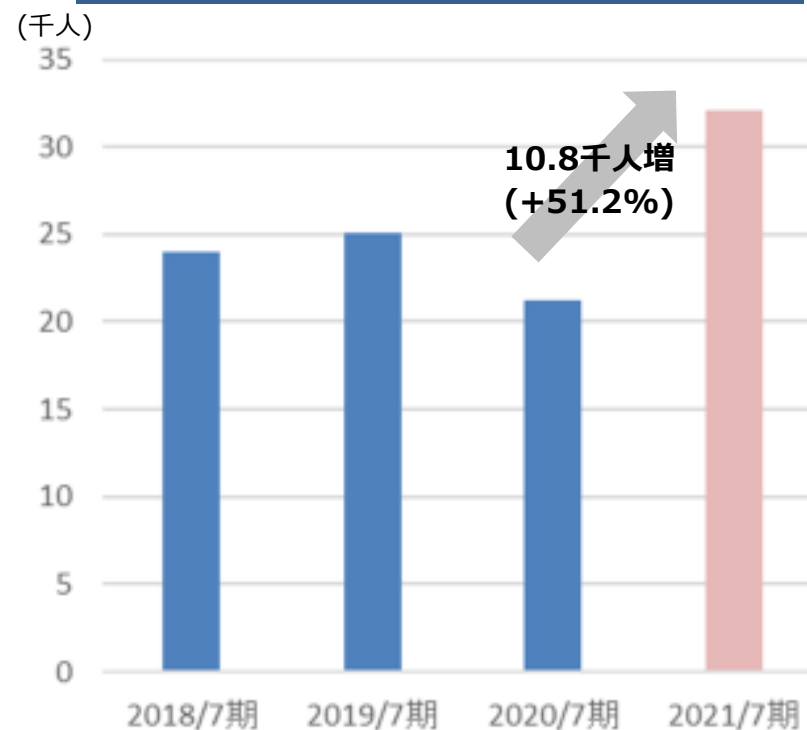
With コロナ めいほうのキャンプ・アウトドア事業

- グリーンシーズンに主にキャンプ場を展開するめいほうでは、2020年7月にジップラインやバギーパークを新設したアクティビティパーク「ASOBOT」をオープン
- コロナ禍において、キャンプやアウトドア需要は好調であり、めいほうのグリーンシーズンの来場者数は前期比10.8千人(+51.2%)の増加
- 2021年8月には巨大空中アスレチック「アクロスパイダー」を新規オープン。キャンプ以外にも様々なアクティビティを追加し誘客を図る

めいほう アウトドア事業



めいほうグリーン期 来場者数推移



リフト券 オンラインチケットの促進

- スキー場では Gondola や レストラン の消毒などグループ統一したコロナ感染防止策のもと運営を実施
- リフト券においても接触型のサービスを減らすため、オンラインチケットの販促・自動発券機の設置を進める
- 2回目以降の利用はチャージのみでリフト利用可能なため、感染対策と同時に、利便性向上による顧客囲い込みを図る

チケットの
販売促進バナー
(めいほうスキー場)



各スキー場設置の
自動発券機

Webチケットのご案内

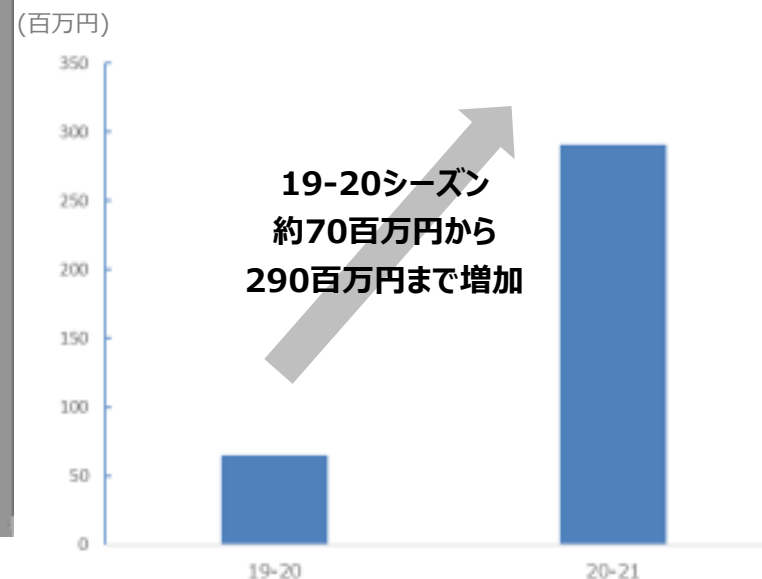
NEW ICカード自動引換機「skiosk」の導入で、
来場時のチケット受取りがさらに手軽になりました！



事前にICリフト券を購入済みなので、
チケット売り場に並ばなくてOK

オンラインチケットの告知(川場スキー場HP)

グループ全体のECチケット売上推移



一山一社化と本社体制の見直し及び関連費用の適正化

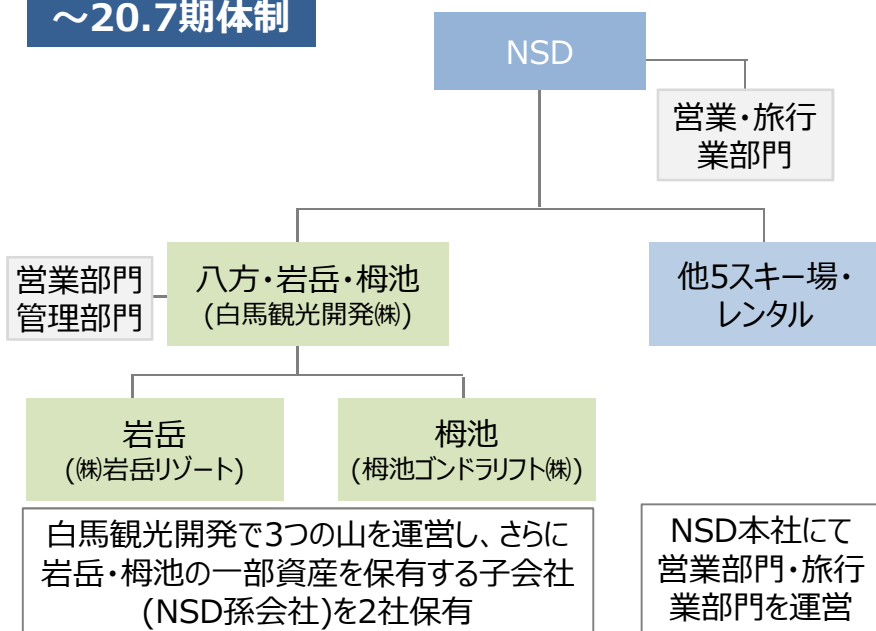


一山一社化と本社関連費用の適正化に向けて

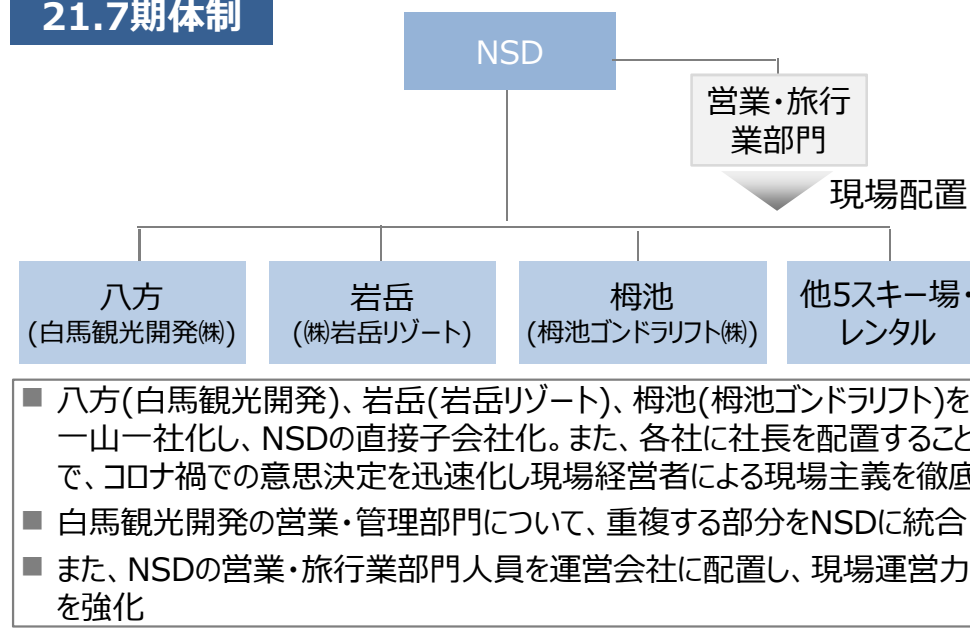
【期初計画】コロナを機に本社の無理・無駄を徹底して排除。一方で、運営会社の強化を図る

- ① 重複部門の統合等により、本社人員約30名を運営会社へ配置。現場運営力を強化し、上昇傾向にあった季節アルバイト費用や外注人件費を削減
- ② 旅行業部門の体制を見直し、コロナにおける旅客取扱減に対応
- ③ WEB化に伴うテレワーク導入や旅費等の合理化。また、広告の費用対効果を再検証

～20.7期体制



21.7期体制



**本社関連費用の適正化は計画通り進展し745百万円(20.7期)から459百万円(21.7期)まで削減
22.7期以降も筋肉質化し、収益性の高まった経営体質を構築する**

1. 決算概要

P. 3

2. 施設別状況

P. 8

3. Withコロナにおける取組

P. 15

4. 2022年7月期計画

P. 20

5. Appendix

P. 29

2022年7月期計画



- コロナの状況によって来場者数が大きく変動することから、レンジにて業績を予想
- レンジの下限値はグリーンシーズンの雨天リスクや、冬期は20-21シーズン並みにコロナが蔓延することを想定
- グループ全体でのコスト圧縮は今期も継続し、利益が出やすい体質に

2022年7月期 損益計画

(単位：百万円)

| | 21/7期 | 22/7期 計画 | 増減 | 前期比 |
|---------|-------|-------------|-----------|---------------|
| 売上高 | 4,546 | 5,100～5,600 | 553～1,053 | 12.1%～23.1% |
| 営業利益 | △ 428 | 100～600 | 528～1,028 | — |
| 経常利益 | △ 267 | 100～600 | 367～867 | — |
| 当期純利益 | △ 480 | 0～375 | 480～855 | — |
| EBITDA | 152 | 761～1,261 | 608～1,108 | 398.2%～725.5% |
| 運営スキー場数 | 8カ所 | | - | |

2022年7月期前提条件（ウィンターシーズン）



前提条件

- 新規スキー場：想定せず、既存スキー場のみ
- 天候：小雪、暖冬リスクを織り込むが、降雪機投資により例年並みのオープン
- コロナの影響：【上限値】コロナは収束しないが、宿泊など観光需要が徐々に回復
【下限値】20-21シーズン同様にハイシーズンのコロナ拡大を想定

ウィンターシーズン 来場者計画

| 運営スキー場名 | 2020/7期 | 2021/7期 | 2022/7期 | 前期比 | (単位：千人) |
|------------------|--------------|------------|--------------------|------------------|---------------------------------------|
| | | | | | ※参考 2022/7期 (中間値 営業利益 350百万円基準) |
| 白馬八方尾根スキー場(HV*) | 299 | 184 | 195~220 | 105%~119% | 202 |
| 白馬岩岳スノーフィールド(HV) | 52 | 66 | 70~75 | 105%~113% | 71 |
| 柵池高原スキー場(HV) | 242 | 141 | 167~193 | 117%~135% | 167 |
| 鹿島槍スキー場(HV) | 82 | 52 | 52~73 | 100%~137% | 62 |
| 竜王スキーパーク | 203 | 104 | 120~169 | 114%~161% | 137 |
| 川場スキー場 | 183 | 143 | 150~163 | 104%~113% | 153 |
| めいほうスキー場 | 169 | 162 | 163~175 | 100%~107% | 169 |
| 菅平高原スノーリゾート | 231 | 99 | 110~209 | 110%~210% | 160 |
| 合計 | 1,463 | 955 | 1,027~1,277 | 107%~133% | 112 |

2022年7月期前提条件（グリーンシーズン）



前提条件

- コロナの影響：上限値・下限値ともにコロナの影響を加味(21.7期程度の蔓延状況を想定)
- 天候：【上限値】天候に恵まれ、通常営業を想定
【下限値】秋口の大型台風や梅雨の長期化の影響を受けることを想定

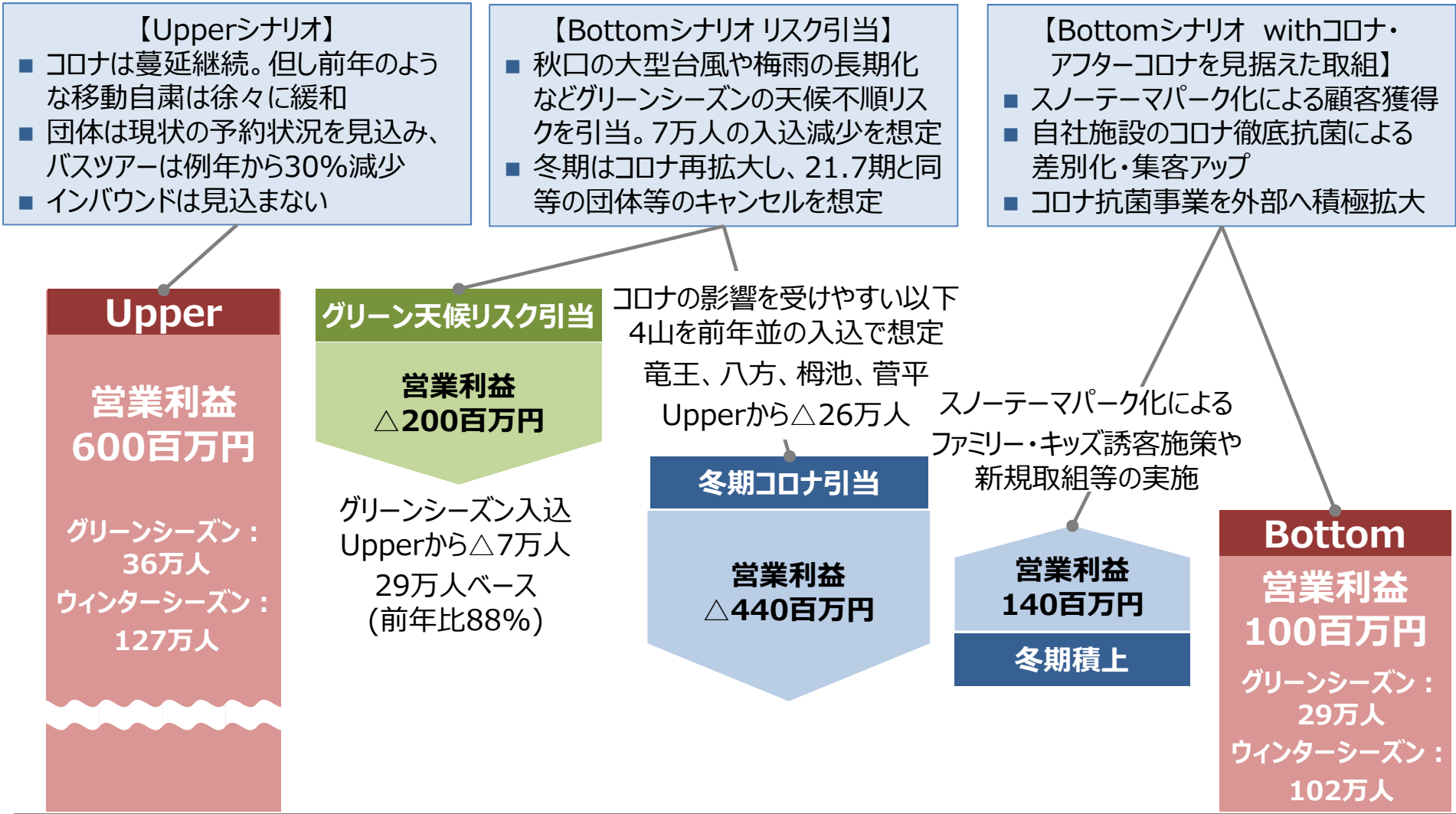
グリーンシーズン 来場者計画

| 施設名 | 2020/7期 | 2021/7期 | 2022/7期 | 前期比 | (単位：千人) |
|---------------------|---------|---------|---------|----------|---------------------------------------|
| | | | | | ※参考 2022/7期 (中間値 営業利益 350百万円基準) |
| 国際山岳リゾート白馬八方尾根(HV*) | 73 | 71 | 70~80 | 97%~111% | 78 |
| 白馬岩岳マウンテンリゾート(HV) | 96 | 134 | 120~140 | 89%~103% | 130 |
| 柵池高原(HV) | 64 | 58 | 50~60 | 85%~102% | 57 |
| 竜王マウンテンパーク | 74 | 63 | 50~80 | 79%~126% | 71 |
| 合計 | 308 | 328 | 290~360 | 88%~109% | 335 |

2022年7月期前提条件



グリーン期の悪天候やコロナの再拡大を見込んだレンジの設定



冬期積上施策 ～ファミリー・ノンスキーヤーに向けて～

- 国内スキー・スノーボードマーケットは少子高齢化が進む中、地震などの天災や小雪、更には新型コロナウイルスが大きな打撃を与えている
- 日本の雪山は世界に誇る資産であり、将来継続的にスキーやスノーボードを楽しむキッズやファミリー層を重点的に再開拓。また、ノンスキーヤー向けのアクティビティやサービスを拡充し、三世代でのスキー場来場や雪遊びでの来場など、スノーテーマパーク化による新たな観光需要や顧客チャネルを創出

ファミリー・キッズ・ノンスキーヤー層を 4万名獲得

岩岳
「Hakuba Mountain Harbor」



めいほう
「ひつじのショーンスノーランド」



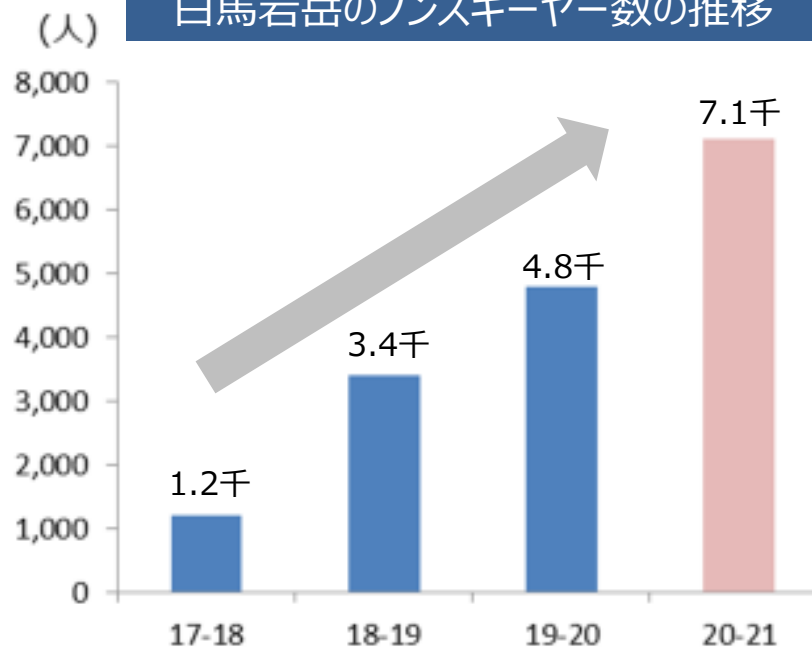
鹿島槍
「Tubers High」



八方
「なきやまスノーランド」



白馬岩岳のノンスキーヤー数の推移



冬期積上施策 ～抗ウイルス・抗菌対策～

- スキー・スノーボードのレンタルを展開するスパイシーでは、自社レンタルウェアの抗菌加工をきっかけに、2021年春より事業として抗ウイルス・抗菌対策部門を新たに展開
- グループの専門部署として冬期シーズンにはスキー場施設の抗菌加工を全面的に実施
- グループ外への抗菌加工に対しても商機を見出し営業展開拡大。22年7月期の外部売上は50百万円に設定



当初はレンタル用品の
抗菌加工からスタート



グループスキー場の
抗ウイルス・抗菌対策開始



グループ外の商業施設等
にも展開開始

【安心・安全なイメージの醸成】

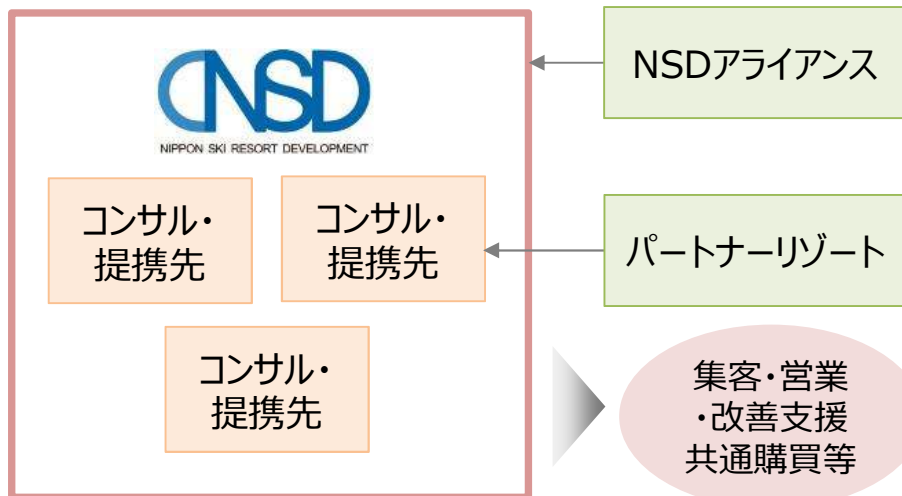
スキー場はアウトドア施設であることに加え、更に抗菌・抗ウイルスを徹底し、
他社リゾート施設よりも一歩抜き出してお選びいただく

NSDアライアンス パートナーリゾートの展開

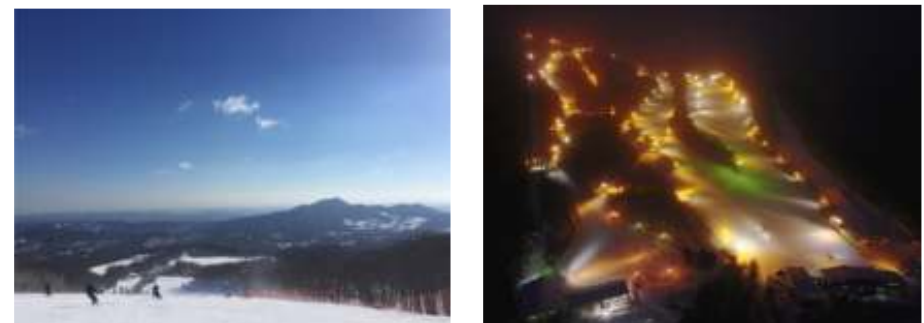


- 2021年7月に宮城蔵王観光(株)の運営する「みやぎ蔵王えぼしリゾート」の集客支援を目的とするコンサルティング契約を締結。21-22シーズンより同スキー場が当社の株主優待対象施設に追加
- コロナ禍により多数の国内スキー場の経営環境が厳しくなる中、提携の枠組みであるNSDアライアンスを拡大しそれらスキー場のコンサルティングや業務支援を進め、業界の活性化に努める

コンサルティング・提携先の拡大



みやぎ蔵王えぼしリゾート



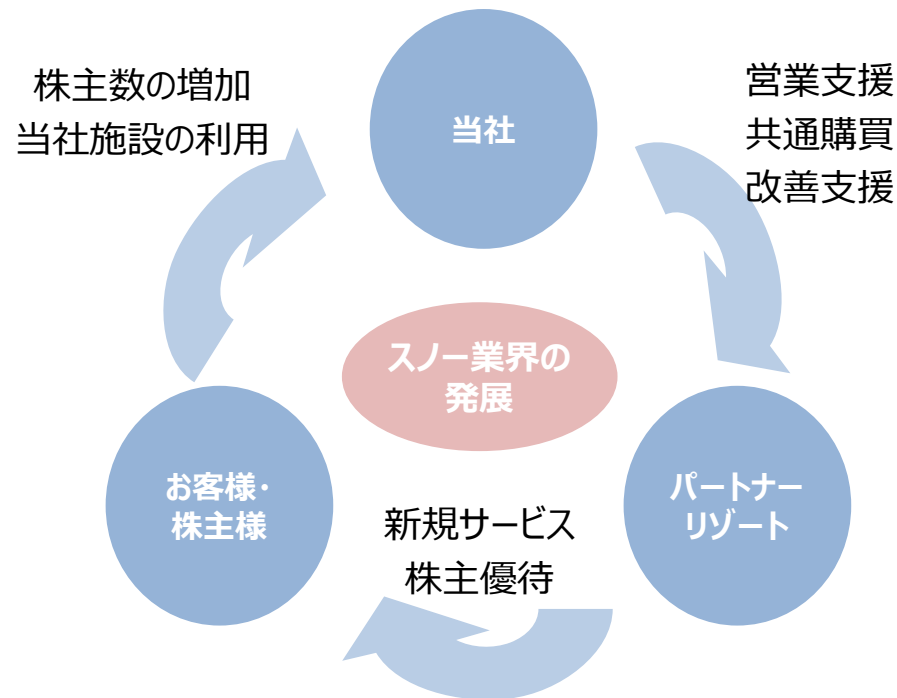
- 仙台平野と太平洋を眺めながら滑走する4300mのロングコースや、初心者やファミリーも楽しめるゲレンデを備える
- 仙台市内・仙台空港から約60分の好アクセス
- 近隣には開湯400年の遠刈田温泉があり、観光拠点としても人気スポット

NSDアライアンス パートナーリゾートの展開



- 外的成長を進める方策として、M&A以外では他スキー場とのアライアンスを推進。様々な事情によりM&Aが行えないスキー場に対して有効であり、また、当社としてもバランスシートを使わず協業可能
- 当アライアンスにより、お互いの理解が深まったタイミングでM&Aに進むことも可能となる

アライアンスによるスノー業界の活性化



コンサルティング内容等



| 対象の株主様 | 2020年7月31日現在の株主名簿に記載された100株以上を保有する株主様 |
|--------|--|
| 1 | 1日スキー専用ケーブルリフト利用割引チケット 5枚 |
| 2 | レンタル割引チケット 5枚 |
| 3 | 特別割引チケット 2枚 |
| 4 | 温泉割引チケット 1枚 |
| 対象の株主様 | 2020年7月31日現在の株主名簿に記載された1,000株以上を保有する個人の株主様 |
| 5 | 1日スキー専用ケーブルリフト共通ウィンタースーズン券 |

グリーンシーズン営業のノウハウ提供、降雪機や圧雪車等の共通購買、株主優待提携による利用者数の増加等、各種コンサルティングを実施

1. 決算概要

P. 3

2. 施設別状況

P. 8

3. Withコロナにおける取組

P. 15

4. 2022年7月期計画

P. 20

5. Appendix

P. 29

HAPPY TRIANGLEの形成

- 貴重な【自然】を最大限活用し、非日常的な空間・サービスを提供し、
- スキーヤーに関わらず多種多様な【顧客】が訪れ、
- スキー場を含めた【地域社会】全体が潤っていくことが最大のミッション

自然の活用・自然との共存

- 冬だけでなく四季折々の魅力を活かす
- 貴重な自然を次世代へ繋ぐ
- 自然の脅威から、顧客を守る

様々な客層を集客

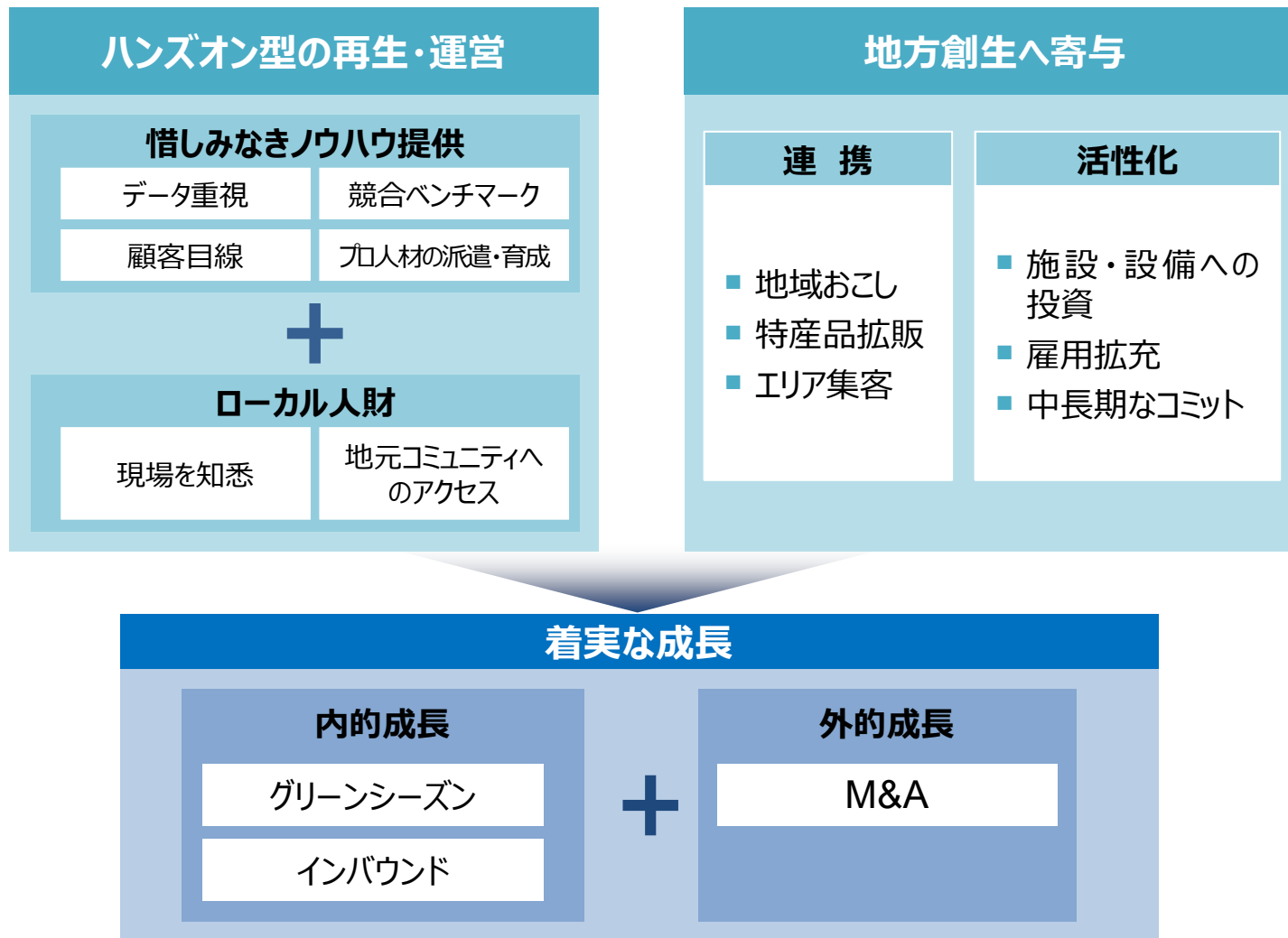
- ノンスキーヤーにとっても魅力的なリゾートづくり
- 国内だけではなく、海外からも集客

スキー場を基点とする地域活性

- 地元パートナーと手を結び、スキー場発の魅力向上を目指す
- マネジメントのローカライズにより、地域との調和を目指す



経営方針：ハンズオンと地方創生



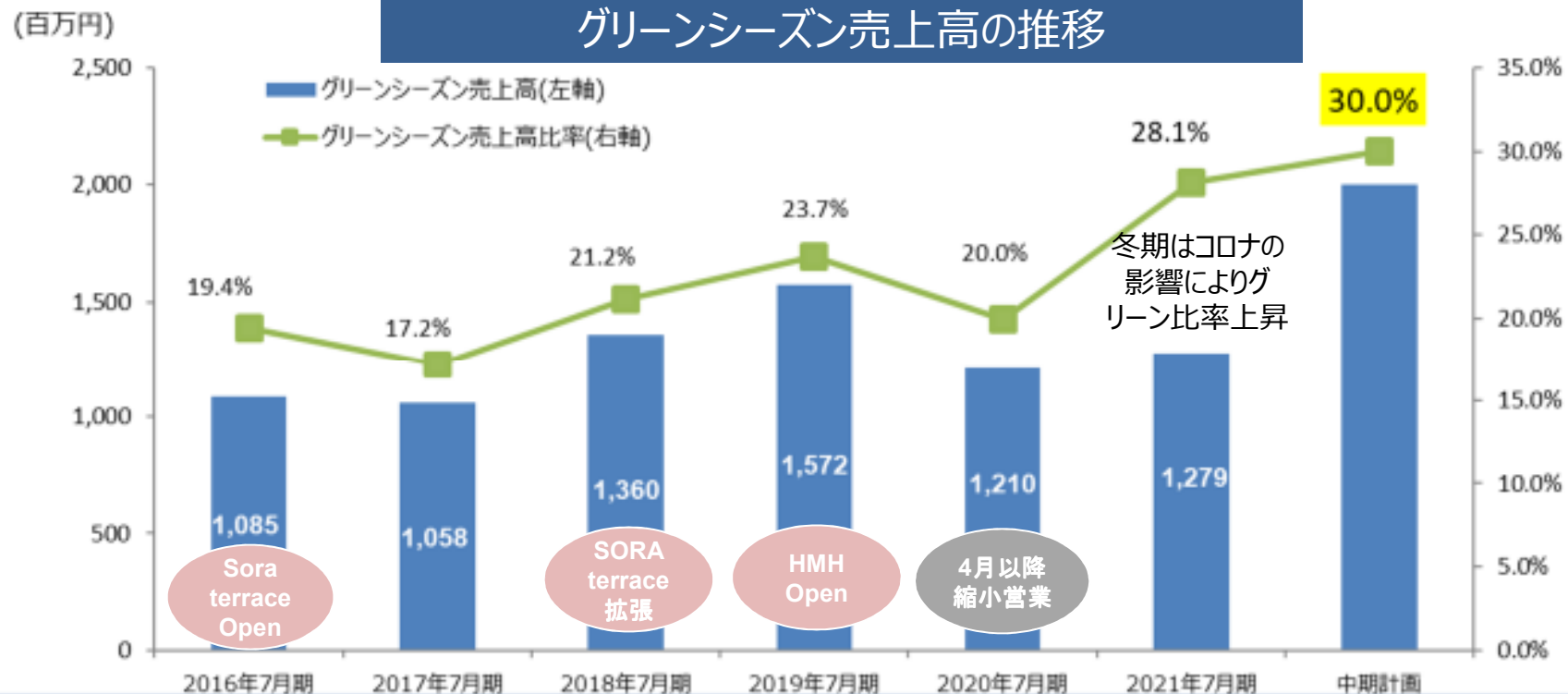
当社グループのスキー場



| | HAKUBA VALLEY 鹿島槍 スキー場 | 竜王 スキー パーク | 川場スキー場 | HAKUBA VALLEY 八方尾根 スキー場 | HAKUBA VALLEY 岩岳スノー フィールド | HAKUBA VALLEY 栂池高原 スキー場 | めいほう スキー場 | 菅平高原 スノーリ ゾート |
|--|---|---|--|---|--|---|---|--|
| | | | | | | | | |
| グループ化 | 2006年9月 | 2009年11月 | 2010年10月 | 2012年11月 | 2012年11月 | 2012年11月 | 2014年10月 | 2015年11月 |
| 立地 | 白馬エリア (長野) | 志賀エリア (長野) | 沼田エリア (群馬) | 白馬エリア (長野) | 白馬エリア (長野) | 白馬エリア (長野) | 奥美濃エリア (岐阜) | 上田エリア (長野) |
| 標高 山頂-山麓 | 1,550-830(m) | 1,930-850(m) | 1,870-1,290(m) | 1,831-760(m) | 1,289-750(m) | 1,680-800(m) | 1,600-900(m) | 1,650-1,250(m) |
| 総面積 (当社所有面積) | 78ha(35ha) | 95ha(11ha) | 60ha(0.1ha) | 200ha(2ha) | 125ha(10ha) | 156ha(0.4ha) | 96ha(-ha) | 175ha |
| リフト本数 | 8 | 13 + ロープウェイ1基 | 5 | 24 + ゴンドラ1基 | 9 + ゴンドラ1基 | 19 + ゴンドラ1基 + ロープウェイ1基 | 5 | 19 |
| 来場者数 (21年7月期ウイ ンターシーズン) | 52千人 | 104千人 | 143千人 | 184千人 | 66千人 | 141千人 | 162千人 | 99千人 |
| ゲレンデ特徴 | <ul style="list-style-type: none"> 北アルプスを望む雄大な景観 | <ul style="list-style-type: none"> 166人乗りロープウェイ 幅広いゲレンデ | <ul style="list-style-type: none"> 都心から2時間圏内 良質な雪質 | <ul style="list-style-type: none"> 長野オリンピックのアルペン競技会場、スキーヤーのメッカ | <ul style="list-style-type: none"> 全国岩岳学生スキー大会が有名 | <ul style="list-style-type: none"> 栂池自然公園の散策、トレッキングなど夏季営業も盛ん | <ul style="list-style-type: none"> 名古屋中心部から2時間圏内、良質な雪質 | <ul style="list-style-type: none"> 首都圏から日帰り圏内に立地しアクセス良好 |
| 主要な客層 | 首都圏、長野県内のファミリー及び幅広い層 | 首都圏からのバスツアー利用者 | 首都圏からの日帰り顧客 | 初心者～上級者、関東・中部・関西から幅広い客層 | 首都圏、長野県内のファミリー及び幅広い層 | 初級者～上級者、関東・中部・関西から幅広い客層 | 名古屋圏、関西圏のファミリー及び幅広い層 | 首都圏、長野県内のファミリー及び幅広い層 |

グリーンシーズンの状況

- 竜王では2015年10月にSORA terraceをオープンし、来場者数は9千人(15/7期)から98千人(19/7期)まで増加
- 山頂テラスのノウハウを横展開し、白馬岩岳マウンテンリゾートではHAKUBA MOUNTAIN HARBOR(HMH)を2018年10月に開業。来場者数は34千人(18/7期)から134千人(21/7期)まで増加
- グループのグリーンシーズン売上高は16年7月期の10.8億円から19年7月期は15.7億円まで増加。20年7月期以降はコロナの影響によるクローズ等により12億円台となっている



グリーンシーズンの状況

竜王 SORA terrace



Hakuba Mountain Harbor



インバウンドの状況

- 22年7月期もインバウンド来場者は計画上見込まない
- しかしながら、コロナ収束後のインバウンド再来場をにらみ、スキー場ベースエリアにおける大型ホテルやアコモデーション不足に対しては、地域連携し、中長期的に解決
- ソフト面でも外国人向けのスクールやサービス等、地域の外国人とも連携しながら改善を継続

全グループスキー場来場者に対するインバウンド来場者割合



当社が支援しているアスリート6名



小野塚 彩那 選手
【スキー フリースタイル】

2014 ソチオリンピック
スキー女子ハーフパイプ銅メダル獲得
2017 X GAMES ASPEN 銀メダル
2018平昌オリンピック
スキー女子ハーフパイプ 5位
2019 FWQ Freeride Hakuba
優勝
2020 FWQ Freeride Hakuba
優勝



原 大智 選手
【スキー モーグル】

2016 World Cup Tazawako
モーグル競技4位
2016 World Ranking8位
2018 平昌オリンピック
スキー男子モーグル 銅メダル
2019 World Cup Canada 銅メダル
2019 世界選手権 銅メダル



岩淵 麗楽 選手
【スノーボード フリースタイル】

2018 XGAMES
スノーボード女子ビックエア銀メダル
2018 平昌オリンピック
スノーボード女子ビックエア4位
2019 World Cup Italy
スノーボード女子ビックエア金メダル
2019スノーボード女子ビックエア
年間チャンピオン
2020XGAMES ASPEN
ビックエア銅メダル



川村 あんり 選手 ★
【スキー モーグル】

2018 全日本ジュニアスキー選手権総合2位
2019 National Mogul
Championships 銀メダル
2019WorldCup ルカ大会
銀メダル



近藤 心音 選手 ★
【スキー フリースタイル】

2018 ニューージーランドオープン
スロープスタイル女子 銀メダル
2018世界ジュニア選手銅メダル



平林 安里 選手 ★
【マウンテンバイク】

2018 Coupe de Japon series MTB
ジュニア総合チャンピオン
2019 全日本U23クラスMTB優勝4連覇

日本スキー場開発はアスリート支援を通じて
スキー文化の発展に貢献します